



私たちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します

# SMILE!

～毎日笑顔で～

スマイル



患者総合支援センター  
の入院前面談担当者

## 特集 患者総合支援センター

①②

看護のこころ Vol.21 「当院での特定行為研修修了者が誕生しました!」 ③

認定看護師NEWS Vol. 8 ④

職場紹介 医事課② ⑤

第11回 リハビリ通信 運動習慣で健康寿命をのぼそう!! ⑥

お知らせ 令和7年度「市民健康講座」開催日程

「新興・再興感染症発症等想定訓練」を実施 ⑦

# 患者総合支援センター

患者総合支援センターでは、PFM（入院前面談と入退院支援）、療養相談、地域連携、病床管理の役割を担う多職種職員が連携し、安心して入院生活を送ることができるように、入院前の準備から患者さんを支援しています。今後、さらに患者サービスを向上するための中心的な役割を担っていきます。

※PFM=Patient Flow Management



副病院長兼  
患者総合支援センター長

杉木 正

当院を初めて受診する方や、入院中、外来通院中の方はいろいろな不安を抱えていらっしゃると思います。「患者さんの不安を解決したい」という考えから患者総合支援センターを設置しています。文字どおり、患者さんを総合的に支援することを目的としています。「ワンストップ」で患者さん、地域の皆さんからのご要望にお応えしていきたいと考えています。



患者総合支援センター  
地域連携担当（医事課）

白子 嘉威

「紹介状をお持ちください」というフレーズをよく耳にされるとおもいます。それは、クリニックと病院がそれぞれの役割を果たして地域で連携することで、より良いサービスを提供できるからです。そのために、私たちはクリニックなど他の医療機関とのつなぎ役として連携の充実に努めています。



患者総合支援センター  
療養相談担当（医事課）

芦野 義明

患者さん・ご家族からのご意見やご相談をうかがい、内容に応じて担当部署に取り次ぎ、担当者とともに対応しています。また、新館1階エレベーターホールや病棟ラウンジ等に「利用者の声」を集める投函箱（ポスト）を設置しています。備え付けの用紙にて皆さんの声をお寄せいただき、ご意見やご要望は、今後のホスピタリティ向上のために役立たせていただきます。



患者総合支援センター  
副センター長

女屋 早苗

患者総合支援センターでは、PFM（Patient Flow Management）を推進しています。PFMとは、入院前から退院後までを一貫して支援する仕組みで、患者さんが安心して入退院できるようにコーディネートすることを目的としています。また、効率的な病床運用をすることで救急患者さんを断ることなく受け入れできるように努力してまいります。



## がん相談支援センター

当院は、神奈川県『がん診療連携指定病院』に指定されています。患者総合支援センターに併設しているがん相談支援センターでは、専門のがん相談員（看護師、ソーシャルワーカー）が、がんに関連した治療や療養、生活上の不安やお困りごとを患者さん・ご家族と一緒に考え、解決のお手伝いをします。ご相談は電話でもお受けしています。





# 看護のこころ Vol.21

当院での

## 特定行為研修修了者が誕生しました！

特定行為とは、医師の指示のもと、看護師が手順書に従って行う診療の補助行為です。高度かつ専門的な知識や技術を必要とし、実践的な理解力、思考力、判断力が求められます。

当院は、令和5年度に厚生労働省から看護師特定行為研修の指定機関として認定され、令和5年10月から自施設で学ぶことができるようになりました。令和6年度には、4名の1期生が研修を修了し、現在2期生が学んでいます。

特定行為の領域は、「救急領域パッケージ」と「栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」です。気管チューブの位置調整、陽圧換気の設定変更や人工呼吸器管理中の鎮痛薬投与量の調整、動脈穿刺による採血や橈骨動脈ラインの確保、末梢留置型中心静脈注射用カテーテル（PICC）挿入を医師の導入を受けながら実践を重ねています。

特定行為実践は、病態の判断をして手順書に沿って早期に介入することで重症化の予防につながります。

私たち特定認定看護師は、診療の補助を行うだけでなく、看護の視点を大切に、当院の医療の質の更なる向上に努めていきます。

### 第1期生



### 第2期生



現在2期生4名が、当院での特定行為領域の「救急領域パッケージ」と「栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連」の研修を日々頑張っ

詳しい活動や採用情報は看護部ホームページへ

平塚市民病院 看護部

検索



# 認定看護師NEWS

Vol.8

認知症看護認定看護師 石井 沙織

## 生活習慣を見直して出来ることをはじめてみませんか

### 認知症の予防!

発症を遅らせることであり、脳老化のスピードを遅くするのが予防法です。

#### からだを積極的に動かしましょう

ウォーキング、ストレッチ、ハイキング、有酸素運動、体操、ダンスなど



#### バランスの取れた食事をよく噛んで食べましょう

さんま、いわし、さば、カツオなどの青魚  
小松菜、ほうれん草、ニンジン、トマトなどの緑黄色野菜



#### 歯(義歯)のお手入れをしましょう

よく噛むことで、脳の血流が増え、脳が活性化されます。定期的な歯科検診を受けましょう



#### 身だしなみを整えて地域と交流しましょう

自己を整えることは、心理的・精神的自立に結び付き、社会の中で自立しようとする動作です



#### 睡眠の質を意識する

寝る2~3時間前に入浴して体を温めると睡眠促進効果があります



#### 目や耳の調子が悪くないか確認しましょう

一般に40歳を過ぎると老化がはじまります。見る・話す・聞くことを充実させて脳の機能を活性化しましょう



平塚市の高齢化率28.8%  
3.4人に1人が高齢者



前回に引き続き医事課の業務を紹介します。今回は、保険請求業務、地域連携業務の二つの業務です。

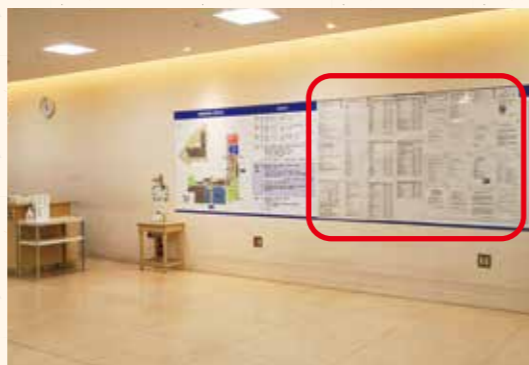
診療報酬担当では、主に保険請求業務を行っています。病院診療の会計は、患者さん自身が加入している保険（社会保険・国民保険等）からいただく部分と、会計窓口で患者さんからお支払いいただく部分とで構成されます。受診時に窓口でお支払いいただくのは、医療費全体の1～3割であり、それ以外の7～9割は保険分として病院から各保険者（社会保険・国民保険等）に請求をします。医業収入の大部分を占めているため、責任感をもって業務を担当しています。また、診療報酬に定める「施設基準」を所管しています。国が定める診療実績や人員配置の要件等を満たして届出を行い、認可されることで、診療報酬（点数）の算定が可能になる仕組みがあります。急性期病院として相応しい施設基準の届出を行うことで、地域に貢献することを目指して取り組んでいます。この施設基準の取得や、維持・管理なども業務として担っています。平塚市民病院がどのような施設基準を取得しているかについては、病院ホームページ、または新館1階（総合案内脇）に掲示していますので、是非ご覧ください。これまで知らなかった病院の一面が見えるかもしれません。

地域連携担当では、大きく二つの仕事をしています。

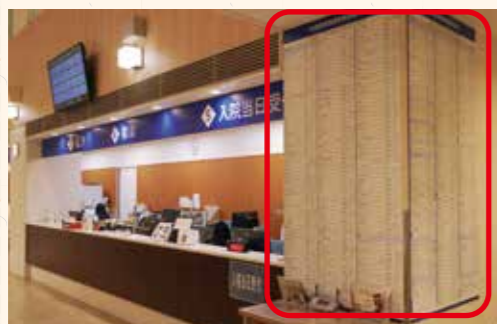
一つ目は地域医療の連携に関する仕事です。特に、地域のかかりつけ医との連携強化に取り組んでいます。厚生労働省が推進する「かかりつけ医」とは、風邪などの病気や体の不調を感じた際に受診したり、自分の健康について相談したりする決まった医療機関（医師）のことです。このかかりつけ医が「精密な検査が必要」・「入院や手術による治療が必要」と診断した時に、平塚市民病院を紹介していただき、急性期の治療が終了した際にはかかりつけ医に再度紹介させていただきます。平塚市民病院では、連携強化のため、地域のかかりつけ医に「地域医療連携登録医」として登録いただいております。お互いの診療機能を補完し合い、切れ目なく質の高い医療を患者さんに提供するように努めています。写真の車に乗って、地域医療連携登録医、新規開業のクリニックを訪問し、顔の見える連携関係構築と広報活動を行っています。

二つ目は患者さんのサポートに関する仕事です。患者さんやご家族が抱えるさまざまな困り事や心配事についてご相談をお受けしています。

医事課では、患者さんやご家族が安心して療養生活が送れるように今後もお手伝いしていきます。



施設基準の掲示



地域医療連携登録医紹介



かかりつけ医を訪問しています

リハビリテーション技術科のスタッフが、みなさんに知ってほしい情報をお伝えしていくコーナーです。今回は「生活習慣病予防」に関する情報です。有酸素運動と筋力強化運動で運動習慣を身につけましょう!

### 運動習慣で健康寿命をのばそう!

生活習慣病予防に効果がある運動は、ウォーキングなどの有酸素運動と立って歩くために必要な筋力強化運動です。

#### 有酸素運動

##### ウォーキング

- ・ご自身の体調に合わせて10～30分、できれば1日に2回程度歩きましょう。途中で休憩を入れても結構です。
- ・少し息が早くなる程度、人と楽に会話ができる程度、やや汗ばみ、爽快感を味わえる程度の運動が最適です。
- ・この程度の強さの運動を有酸素運動といいます。有酸素運動は、体力や筋力を良くしてくれるだけでなく、血糖値を下げる、脂肪を減らす、血行を良くする、ストレス解消などの効果があり、生活習慣病予防にはとても効果的な運動です。

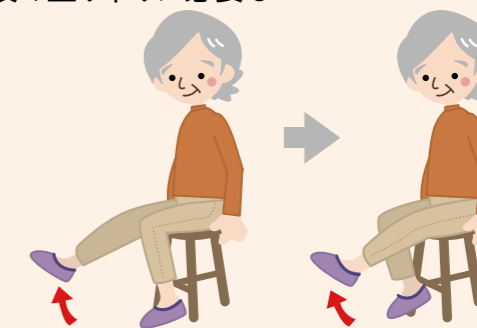


#### 筋力強化運動

##### ひざのばし

椅子からの立ちあがり、歩行や階段の上り下りに必要な太ももの前の筋肉を強くします。

- ・片足ずつゆっくり足をあげ、ひざをのばします。
- ・そのまま5秒止め、おろします。





## お知らせ

### 第4回 市民健康講座 「よくわかる！ 心臓と血管の手術」

3月8日(土) 13時30分から  
ひらしん平塚  
文化芸術ホール

申込はこちらから



第3回開催時の様子

### 令和7年度「市民健康講座」開催日程

会場 ひらしん平塚文化芸術ホール「多目的ホール」

開催日	時間
第1回 令和7年6月14日(土)	9時30分から11時30分まで
第2回 令和7年9月6日(土)	13時30分から15時30分まで
第3回 令和7年12月6日(土)	
第4回 令和8年3月7日(土)	

～当院の専門医が解説します～  
開催内容は決まり次第おしらせします

### 「新興・再興感染症発症等想定訓練」を実施

12月21日(土)に、感染症が発症したときの訓練を実施しました。平塚・中郡の感染管理に関わる病院関係者やクリニック・保健所・神奈川県庁など100名以上が参加しました。



## 地図・交通アクセス

### 【路線バスをご利用の方】

- JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分  
平21、22、26、77金田公民館行き、市民病院行き、市民病院経由高村団地行き、市民病院経由東海大学前駅南口行き「市民病院前」下車 運賃:現金、ICカード240円
- 伊勢原方面から平塚駅行「中原下宿」バス停下車、ヘルシーロード徒歩約20分
- 秦野方面から平塚駅行「南原」バス停下車、徒歩約10分

### 【シャトルバス】

- 市内神田地区から市民病院へ便利なシャトルバスも運行しています。  
[運行日] 市民病院外来診療日  
[運休日] 土曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)  
[運賃] 大人…1乗車260円  
小学生、割引運賃適用者(\*)…130円  
未就学児…無料  
現金 前払い(回数券、ICカードは使えません。)  
※身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方と、その介護者の方

### 【車をご利用の方】

- 午前は、大変混雑しますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。
- 信号「平塚市民病院入口」から進入してください。
- 外来駐車場(有料)  
[利用時間] 午前7時00分～午後7時30分  
[料金] 外来患者…入場後30分無料、同90分100円、以降すべて200円  
一般…入場後30分無料、同90分100円、以降1時間ごとに100円加算(面会含む)  
交通系電子マネーでの支払いが可能です。



Hiratsuka City Hospital  
**平塚市民病院**

救命救急センター 災害拠点病院 地域医療支援病院  
神奈川県がん診療連携指定病院

〒254-0065 神奈川県平塚市南原1-19-1  
TEL: 0463-32-0015 FAX: 0463-31-2847  
URL: <https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

初診受付時間: 午前8:30～11:00(初診及び予約外の方)  
休診日: 土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)

